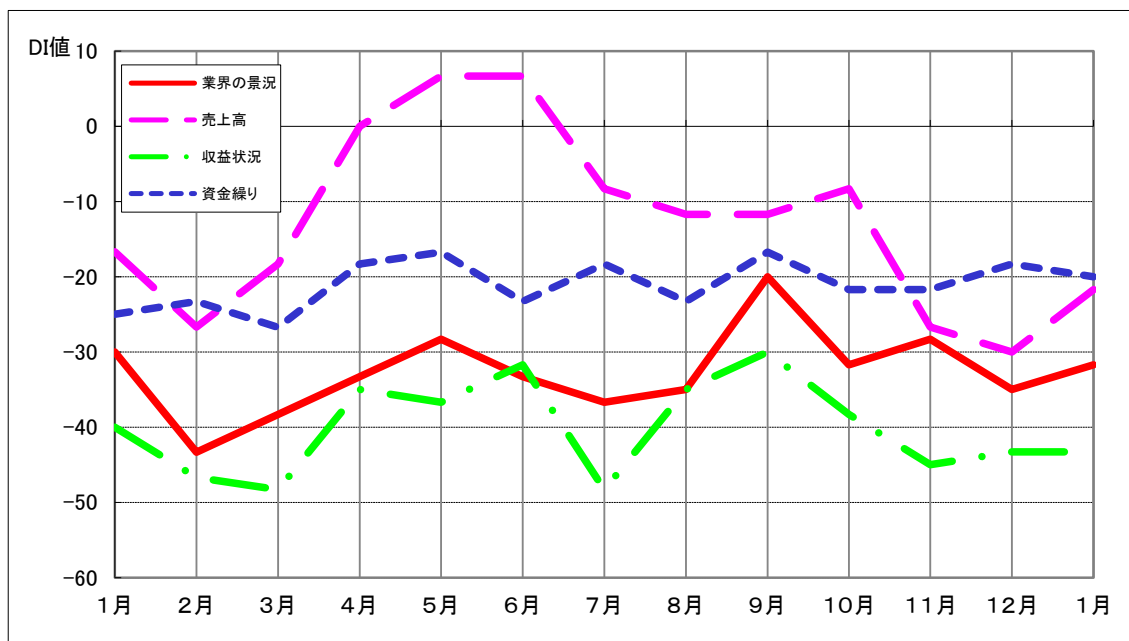


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和4年1月～令和5年1月

単位:ポイント



	R4												R5
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	-33.3	-36.7	-35.0	-20.0	-31.7	-28.3	-35.0	-31.7
売上高	-16.7	-26.7	-18.3	0.0	6.7	6.7	-8.3	-11.7	-11.7	-8.3	-26.7	-30.0	-21.7
収益状況	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	-31.7	-48.3	-35.0	-30.0	-38.3	-45.0	-43.3	-43.3
資金繰り	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	-23.3	-18.3	-23.3	-16.7	-21.7	-21.7	-18.3	-20.0

1月のDI値は前月と比べ、2項目改善、1項目不変、1項目悪化となった。「売上高」DI値は8.3ポイント改善のマイナス21.7ポイント、「業界の景況」DI値は3.3ポイント改善のマイナス31.7ポイントとなり、「収益状況」DI値は不変のマイナス43.3ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイント悪化のマイナス20.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、1項目改善、3項目悪化となった。「資金繰り」DI値は5.0ポイント改善し、「売上高」DI値は5.0ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイント、「業界の景況」DI値は1.7ポイントそれぞれ悪化となった。

製造業においては、引き続き原材料や資材、仕入れ価格の値上がりが報告されている。昨年から、様々な業界で複数回の値上がりが相次ぎ、価格転嫁等の対応に苦慮している。一月に入るも値上がりの流れは変わらず、業界によっては再び適正な利益確保のための対応に迫られている。加えて、電気・重油等の更なる価格上昇も重なり、収益性が悪化していたり、今後の経費負担の増加を危惧する意見が寄せられている。

非製造業においては昨年と比べてイベントや新年会が開催されるようになり、一部では明るい兆しが見られる。一方で、物価高の影響による消費の冷え込みや大雪による人出の減少などによって、売上が低迷した業種もある。